

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

北川冷機 株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県世羅郡世羅町宇津戸才迫200

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28年度を基準年度とし、平成29年度から令和2年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

温室効果ガス削減のために、コンプレッサー移設を含めた工場内のエネルギー効率向上のための計画を立案・実施する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成29年度
二酸化炭素	6,188	6,479

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成28年度)		削減目標		目標年度 (令和2年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2	6,188	5.0	309	5,879	
非エネルギー起源CO2				0	
メタン				0	
一酸化二窒素				0	
その他 温室効果ガス				0	
温室効果ガス 実排出量総計	6,188	5.0	309	5,879	
温室効果ガス みなし排出量		-		5,879	
目標設定の考え方	排出量年1.0%の削減率				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量削減	5%	コンプレッサーの移設等により，使用電力量の低減
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は，数値目標欄の記載例中，「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

最高責任者 工場長
推進責任者 製造部長

総合調整 製造保証課
推進責任者 製造保証課 課長
推進リーダー 保全係長

(2) 実施状況の点検・評価

電気使用量を毎月監視し、それにより評価する。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書及び温室効果ガス削減実施状況報告書を公表する。